

Z会東大進学教室

# 一橋大世界史



# 1章 フランス革命

## 添削課題

### 解答例

ルイ 16 世のもとでアメリカ独立戦争に援助したことで、折からの戦争や宮廷の浪費で逼迫していたフランスの財政は危機に瀕した。当時のフランスはアンシャン＝レジームと呼ばれる伝統的な身分制度が存続していた。聖職者である第一身分と貴族から成る第二身分は人口のわずかな比率しか占めていないにもかかわらず富と特権を独占しており、第三身分に不満が生じていた。とりわけ、新興の商工業者は産業革命を進めるイギリスの商品の国内流入を嫌い、国政への不満を強く持っていた。ルイ 16 世は重農主義者のテュルゴーや銀行家のネッケルを起用して財政改革に着手させた。テュルゴーは穀物取引の自由やギルドの廃止を、ネッケルは特権身分への課税を主張したが、特権身分は反発し、三部会の召集を要求する。この三部会で特権身分のみならず、第三身分も国政への不満を表明することになり、王権が揺らぐこととなった。

(376 字)

### 解説

#### 《フランス革命》

問題文の読み取りは難しくはない。

1. フランス革命直前期にどういった問題が生じていたか
2. 政府はその問題にどのような改革で対応しようとしたか
3. そうした改革はなぜ挫折したか

1 のポイントについて。「どういった問題が生じていたか」という問い方は漠然としているように思えるが、問題文の 2 行目に「多くの社会的矛盾や財政難が顕著」とあるので、その点を具体的に書いていけばよい。

最大の難所は「フランス革命勃発に至るまで」という時期設定である。フランス革命勃発というのはいつをさすのか？ つまり、フランス革命はいつ始まったのかということなのだが、これは、諸説あって一致した意見はない。つまり、この問題の難しいところは、フランス革命がいつ始まるのかに諸説あり、ということをも前提にして解くことができるか、ということろだ。仮に、そういうことを知らない場合、「なぜ挫折したのか」というところはかなり、強引な主張を奏でる場合も出てくるであろう。

解答例の 1 行目からは「財政難」になった理由をまず書いた。ルイ 14 世の頃から遡って書いてもよいだろう。続けて「社会的矛盾」を具体的に書いた。続けて「イギリスの商品の国内流入を嫌う」というくだりは、東京書籍の教科書にしか記載されていない。ここは書けなくても仕方がない。

2 のポイントに移っていく。どういう改革を試みたかということろだが、ここもテュルゴー、

ネッケルのそれぞれの主張をしっかりと書くのは難しい。2のポイントまでで200字書ければ十分といえる。

3のポイントだが、フランス革命勃発を三部会召集と捉えていないことがわかるであろう。なぜかという、三部会召集までなら、最後の一文は書けないことになるからだ。三部会召集までと固定的に捉えていた人は、三部会が召集されること自体が挫折、という書き方をしなければならないが、これはいかにも苦しい。やはり、フランス革命がいつ始まるのかには諸説あるという知識が必要とされるのであろう。

その意味では難問ということになるのであろうが、こういった難問は個人的にはつまらない。教科書と用語集を持ち込み可だとすると、たかが1ページ分を丸写しすることでほぼ満点が取れてしまう問題はつまらないといわざるをえない。

解答例は、一定の考え方によって導かれたものである。ゆえに前提（問題の読み取り方）が異なれば、千差万別の解答が出てくることはいうまでもない。解答例や別解を鵜呑みにしないように。あくまで解答にいたるプロセスの一例である。

## 2章 産業革命・アメリカ独立革命・ナポレオン

### 添削課題

#### 解答例

革命の基本的宣言における理念はアメリカ独立宣言もフランス人権宣言も共通している。ロックの社会契約説に基づいており、近代民主政治の原理ともなっている。しかし、革命で生まれた政治体制は異なるものであった。合衆国では一貫して共和政が続いたのに対して、フランスでは国民統合が進むにつれて立憲君主政から共和政へ、さらにはナポレオン1世による帝政へと政治体制が変化していく。また、合衆国では先住民や黒人に選挙権が与えられなかったのに対して、フランスでは男性普通選挙が導入された点も異なる。こうした違いは、革命を取り巻く諸状況の違いによるところが大きい。アメリカ独立革命では多くのヨーロッパ諸国が独立側の味方についたのに対し、フランス革命では対仏大同盟が結成されたように、権力を集中させて国民統合を進めなければならなかったのである。これは合衆国では独裁は出現しなかったが、フランスでは出現したことにも関係している。(400字)

#### 解説

#### 《アメリカ独立革命とフランス革命の比較》

アメリカ独立戦争（革命）とフランス革命の比較は、かつては入試問題でよく出題されていた。1988年の東大でもほぼ同様の出題が見られる。ある意味では一度学習してしまうと、丸暗記しておけば何とかなるために、東大では二度と出題されることはないだろう。一橋大でもそうだろうが、ものの考え方を身につけるためにも一度はしっかりやっておいて損はない問題である。

ロックの思想は近代市民社会の原理となっているので、倫理などでも学習しているであろうが、基本はしっかりと押さえておきたい。因みにイギリスの名誉革命もロックの影響と勘違いしている人も多いが、ロックは名誉革命を擁護したのであって、ロックの影響で革命が起きたのではない。

アメリカ独立戦争を革命と呼ぶのは、単なる政治的独立にあらず、絶対王政とは異なる政治体制を打ち立てようとする試みだったからである。絶対王政を倒すという点ではフランス革命も同様であり、だからこそ「比較せよ」という問いが成り立つが、フランス革命の10年間の動きはあまりにも複雑なのでつかみようがない。しかし、10年間にフランスで見られた政治的な動向は他のヨーロッパ諸国が19世紀の100年をかけて経験する動きの縮図となっているために、しっかりと把握しておきたい。

400字は短いもので、原因がともに課税問題から発していることなども書いてよいのだが、そのゆとりはなかった。革命を取り巻く国際状況を書かなければならないという一方で、国内状況にも触れたかったが、こちらが字数の関係上無理であった。もっといえば、無駄をなるべく排除して切り詰めていけば可能なのだが、受験生としてはこれくらい書くことができれば十分であろう。

解答例は、一定の考え方によって導かれたものである。ゆえに前提（問題の読み取り方）が異なれば、千差万別の解答が出てくることはいうまでもない。解答例や別解を鵜呑みにしないように。あくまで解答にいたるプロセスの一例である。

## 4章 1848年

### 添削課題

#### 解答例

##### 解答例 1

三十年戦争はウェストファリア条約で終結した。ハプスブルク家が敗北し、アウクスブルクの宗教和議が再確認されるとともに、領邦に主権が認められ、神聖ローマ帝国は解体した。ハプスブルク家を破ったフランスはアルザスなどを獲得する。オランダとスイスの独立も国際承認された。フランスとともにプロテスタント側の勝利に貢献したスウェーデンは西ポンメルンを獲得する。プロテスタントの領邦の1つであるブランデンブルク＝プロイセンは東ポンメルンを獲得し、ハプスブルクに次ぐ地位をドイツで得た。三十年戦争は、傭兵の略奪が横行してドイツの人口が激減したことから、その後のドイツの発展を阻害するという形でも影響を与えた。また、ドイツ統一が遅れるといった影響もある。(318字)

##### 解答例 2

三十年戦争はウェストファリア条約で終結した。内容として注目すべきは、神聖ローマ帝国内の領邦君主に主権が認められたこととカルヴァン派が公認されたことである。それは、ドイツの政治的・宗教的分裂を決定的なものとしたからである。三十年戦争において敗北したハプスブルク家は自家領土強化に専念し、東方へ拡大していくために帝国として発展することになる。それがのちのドイツ統一に際して大ドイツ主義か小ドイツ主義かという対立を生んだように、ドイツの統一を遅らせることになった。統一が遅れた要因としては、三十年戦争を通じて主権国家体制が成立したことも挙げられる。中央ヨーロッパに位置するドイツが分裂していることがヨーロッパの勢力均衡を維持することになったからである。ドイツの統一をヨーロッパ諸国が望まなかったことが、ドイツ統一が遅れる要因となったことは当然であろう。(374字)

#### 解説

##### 《三十年戦争の結果とドイツへの影響》

まずは解答例1について。字数が足りないとかそういったことは問題ではない。内容があまりにも乏しい。

確かに三十年戦争の結果としての事実を誤認なく書いている。しかし、「その後のドイツに及ぼした影響」を考えていないため「三十年戦争の結果」の中で、何が重要な情報で何が不要な情報かということに目を向けるのではなく、ただ書き流しただけに留まっている。

「それが後のドイツに及ぼした」の部分で、「それ」というのは何をさしているのか？ 当然だが「三十年戦争の結果」であろう。国語の問題として問われれば意識できることが、世界史の問題になった途端に見えなくなってしまう。結局、「その後のドイツに影響を及ぼさない」ことについては「三十年戦争の結果」であろうが書く必要はないのだ。したがって、「その後のドイツに及ぼした影響」をしっかりと考えなければ、ただ「三十年戦争の結果」を書き散ら

かして提出ということになる。

以上を踏まえて解答例2である。

最後の主権国家体制にまつわる話に代えて、ドイツが経済的に荒廃したことにより、経済的な統一が成り立たなくなったということを書いてもよいだろう。ハンザ同盟が三十年戦争を通じて解散状態に陥ってしまったことを知っていれば、何とか書けると思う。

解答例は、一定の考え方によって導かれたものである。ゆえに前提（問題の読み取り方）が異なれば、千差万別の解答が出てくることはいうまでもない。解答例や別解を鵜呑みにしないように。あくまで解答にいたるプロセスの一例である。



Z-KAI

会員番号	
------	--

氏名	
----	--